

「ライフデザイン演習」における「全員発揮の リーダーシップ」の授業の実践 — 学生のライフコースに関する調査を中心として —

申 智 媛
杉 坂 郁 子

要約

本稿の目的は、「ライフデザイン演習Ⅰ」で「全員発揮のリーダーシップ」について学んでいる短期大学生のライフコースに関する意識を明らかにし、リーダーシップ教育における実践上の示唆を得ることである。調査の結果、受講学生は安定した職に就きたいとの志向が強く、新しい産業分野への関心は低い傾向があった。親からも安定した職を望まれ、伝統的な職業観を持つ傾向も見られた。また、仕事に対する意義については、「やりがい」や「人の役に立つ」ことを求めつつも、仕事は「仕方なくする」または「生活のためにする」と答える人が多く、積極的な仕事観と消極的な仕事観が混在する様子が見られた。女子学生については、母親のライフコースに影響を受ける傾向があり、母親とは異なるライフコースを模索する意欲は高くはないことがわかった。このような傾向に対処するために、多様な女性の生き方や働き方を示すロールモデルの提示などが必要である。また、産業の変化や国際情勢の不安定性など、学生の将来への展望には不安定性が増していることから、親や教員からの情報提供やサポートがさらに重要になると考えられる。

【キーワード】 リーダーシップ教育、全員参加のリーダーシップ、ライフコース、
ライフデザイン

1. はじめに—リーダーシップ教育において学生の「ライフコース」を意識することの意味—

筆者らは、帝京大学短期大学現代ビジネス学科1年の必修科目「ライフデザイン演習

I・II」を共同で担当している。短期大学1年生を指導するに当たり、学生の主体的で深い学びとコミュニケーション能力の育成、また異質な他者と質の高い学び合いができる授業を目指す中でさまざまな課題や困難に共通的に直面してきた経緯から、それぞれの専門性（筆者のうち1人は教諭、管理職経験者、1人は教育学研究者）を活かした共同研究を行うことで、授業の質の向上と学生の学びと成長の支援を促すための取り組みを行ってきた（杉坂・申、2019；杉坂・申、2021；申・杉坂、2023）。

帝京大学短期大学現代ビジネス学科は、「複雑化・多様化するビジネス社会で必要とされる知識と技能を少人数教育で身につける」ことを特色とし、卒業生の進路としては、企業への就職と帝京大学への編入が主である。ライフデザイン演習は帝京大学のすべての1年生が履修する科目として、現代ビジネス学科では「自分の考えをまとめ表現することと、それをもって相手とコミュニケーションすること」、そして「就職や編入を含め、自分の将来について考え、計画的に大学生活を送ること」に焦点を当てて授業を運営してきた。

2021年度からは特に、人生設計における学生一人ひとりの「リーダーシップ」の重要性に着目した実践を行ってきた。「リーダーシップ」の中でも、「権限によらない、全員発揮のリーダーシップ」（日向野、2018）を授業のテーマに据えることで、一人ひとりが持つ強みと弱みを相互に確認し、自分が発揮できる領域でリーダーシップを発揮し、チームに貢献できる経験を積み重ねることをねらいとした。

2021年度、2022年度には、3人～4人がグループとなり、さまざまな課題を協同で行う中で、小さなリーダーシップを取る練習をすることに焦点を当てて授業を行ってきた。その中で、リーダーシップを発揮することは、学生自身の持つ自己肯定感や、自分の人生に向き合う姿勢と関係があるのではないかと思われる場面に直面してきた。

以上のような背景から、2023年度からは、学生が相互にリーダーシップを発揮するだけでなく、個々の学生が自らの人生設計や大学生活に積極性を持つことの重要性に目を向けるようになった。そこで、2023年度前期の「ライフデザイン演習I」では、「全員発揮のリーダーシップ」の教育を進めつつ、学生一人ひとりが自らのライフコースについてどのような意識を持っているのか調べる取り組みを行った。

本稿には大きく二つの目的がある。第一に、2023年度前期「ライフデザイン演習I」を受講する短期大学現代ビジネス学科1年の学生が、自らの「ライフコース」についてどのような意識を持ちながら大学生活を送っているのか、その特徴を明らかにすることである。第二に、筆者らが行う「全員参加のリーダーシップ」教育において、学生一人ひとりがより自らの人生設計に積極性を持つためにどのような指導が必要か、という課題に対して示唆を得ることである。

2. 先行研究の検討

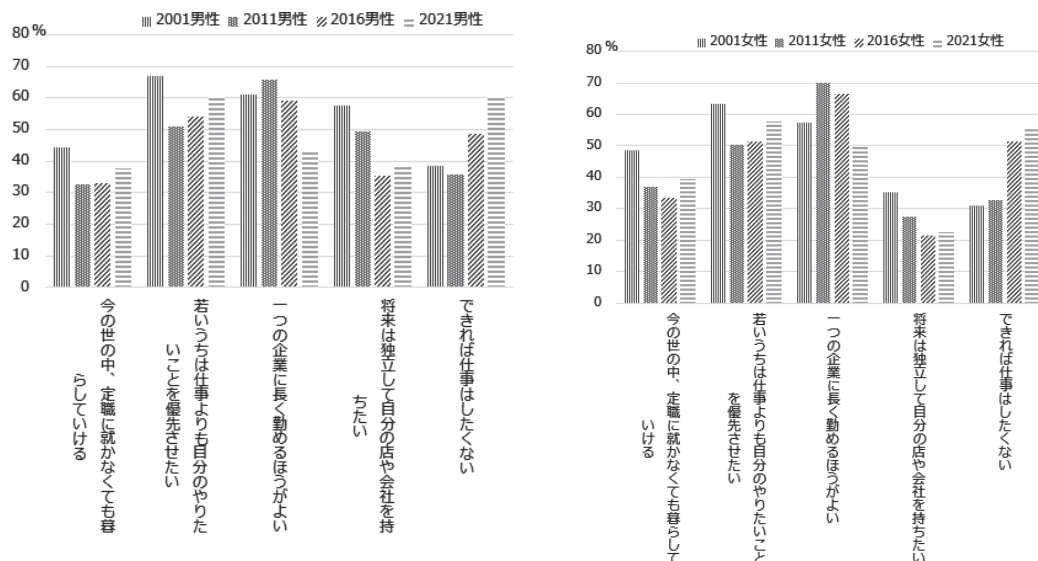
帝京大学・帝京大学短期大学に通うすべての1年生の学生を対象とする必修科目である「ライフデザイン演習Ⅰ・Ⅱ」の「授業のねらい」の一つに、「就職を含めて、自分の将来について考え自覚し、計画的に大学生活を送ることを学ぶ」ことがある。大学生、短大生の人生設計や大学生生活の支援を行う上では、大学生が将来をどう考えているかは、考慮すべき重要な問題であろう。大学生が卒業後どのような生き方をしたいのかは、大学生の将来の問題であると同時に、彼らの現在の在り方を規定する問題である（松井、2016）ことはいままでもない。

先行研究によると、ライフコースとは、年齢によって区別された、「一生涯を通じてのいくつかのトラジェクトリ（軌道・人生行路）、すなわち出来事についてのタイミング、持続時間、配置および順序に見られる社会的パターン」（Elder, 1985； 齋藤・本田、2001）を指す。本稿ではこれを参照し、「学生が思い描く自らの将来の軌道」という意味で「ライフコース」という概念を用いる。

筆者らは教員として授業で出会う学生たちが、ライフコースをどのように思い描いているかについて触れる機会があるが、自分のライフコースを積極的に思い描けていない学生が少なからずいる印象を受けている。大学生が自分のライフコース、その中でも直近の人生の課題である「就職」、また「働くこと」について消極的な姿勢を示す傾向があることがいくつかの研究で明らかになっている。例えば、飯田（2023）は、内閣府（2017）や就職みらい研究所（2022）の研究を引用しながら、「なぜ働くのか」という若者への問いに対する答えとして、「お金を得るため」、「生活のため」といった理由が過半数を占めている一方で、「自分の才能や能力を発揮するため」、「社会に貢献するため」といった積極的な問いへの回答率は低い傾向を見せるとして、若者のキャリア観に消極性が見られると指摘している。

コロナ禍を経験したこの数年間で起きている若者の「働くこと」への考え方の変化に注目すべき、という調査結果もある。独立行政法人労働政策研究・研修機構（2022）が発表している「労働政策研究報告書－大都市の若者の就業行動と意識の変容－」は、2001年から現在に至るまで、約20年間の若者の働き方や意識の変化を把握し、最新の状況を位置づけることを目的とした研究調査である。20年間継続的に行ってきた同調査の中でも、2021年に行った調査は、有意味な傾向の変化を示している。例えば、この20年間若者の職業意識については、「フリーター共感」が低下し、「堅実化」の状況が継続してきたが2021年の調査ではその傾向が大きく変化し、男女ともに「フリーター共感」（「今の世の中、定職に就かなくても暮らしていける」、「若いうちは自分のやりたいことを優先させたい」）は低下傾向にあったが反転したという。また、一社志向（「一つの企業に長く勤める

図1 若者の職業意識の変化（左：男性 右：女性）
独立行政法人労働政策研究・研究機構（2022）より。



方がよい」は大きく低下したが、独立志向は下げ止まったままであり、他方で仕事離れ（「できれば仕事はしたくない」）が大きく上昇した。特に仕事離れと「堅実化」傾向の弱まりはこの20年間の観察において大きな変化と捉えることができる、と指摘している。

上記の先行研究が指摘するように、近年の若者のキャリアの捉え方に「消極的な特徴」があるのだとしたら、本学の短期大学1年生にもライフコースを築く上での消極的な傾向が現れるのだろうか。また、どのような形で特徴が現れるのだろうか。今回の調査を通して短期大学1年生のライフコースへの考え方の特徴の一面を把握することで、ライフデザインの指導への示唆点を導き出したい。

3. 調査の概要と方法

今回の調査は、「ライフデザイン演習Ⅰ」で「全員発揮のリーダーシップ」について学んでいる短期大学生たちが、自身のライフコースについてどのような意識を持っているかを調べることを目的とした。調査項目には、ライフコースに関する一般的な意識調査のための問い以外にも、短大に入学して約3カ月しか経っていない学生たちへの両親の影響を考え、「ライフコースへの考え方に両親の期待の影響があるか」という面と、「ライフコースの捉え方に男女間の違いがあるか」といったことを知るための質問項目も設けた。

今回ライフコースに関する意識全般を調査するための質問を作成する上では、松井（2016）の「大学生の仕事観に関する研究」の調査項目を参考にした。また、「両親の期待

の影響」と「男女の差異」を調べるための質問項目を作成する際は、高松他 (2023)「両親の期待が女子大学生のライフコースに与える影響」の調査項目を参考にした。

「ライフコースを考えるための調査」の質問項目は (1) 仕事に関する意識、(2) 価値観、(3) 今の状況についての考え、(4) ライフコースについて (女子学生用・男子学生用) で構成される。「(4) ライフコースについて」も質問項目を女子学生用と男子学生用に分けたのは、女子の場合、自身の結婚、妊娠、出産、育児などの母親としてのライフコースをイメージしやすくするためである。もちろん、男子学生の質問項目にも結婚や子どもを持つことについての質問項目を含めている⁽¹⁾。

調査対象者は、帝京大学短期大学現代ビジネス学科 1 年生 (2023 年度入学) の男子 10 人、女子 13 人の計 23 人である。2023 年 7 月 27 日 (木)「ライフデザイン演習 I」の授業内で実施し、23 人全員の回答を得ることができた。

4. 結果と分析

以下では、(1) 仕事に関する意識、(2) 価値観、(3) 今の状況についての考え、(4) ライフコースについての考え方 (女子学生・男子学生) の集計結果を中心に、特徴的な傾向について述べる。

4-1. 仕事に関する意識

「どのような組織で働きたいか」という観点からは、男女ともに「大企業で働きたい (64%⁽²⁾)」、「おおきな組織の一員でいたい (59%)」、「メーカーで働きたい (55%)」傾向が若干強いが、「IT 関連の仕事 (18%)」を希望する者は少ない。昔ながらの会社員をイメージして目指す傾向があると思われる。また、「働き方で重視すること」という観点では、「収入 (68%)」や「安定 (82%)」を大切に考えている一方で、「海外で働く (14%)」ことや、「起業 (32%)」に対しては、希望しない傾向がある。

「仕事をする意味」については、「やりがい (86%)」や「人の役に立つ (96%)」ことを求める傾向が強いが、同時に、「仕事は仕方なくする (73%)」と回答する学生が多く、仕事観が定まっていない様子が伺える。先行研究では、若者のキャリア観の特徴として、「やりがい」や「自分の能力の発揮」を目的とする積極的なキャリア観を持つ人の割合が低く、「生活のため」という消極的な目的を持つ人が増えていることが指摘されていた。しかし、本研究の調査から見えてきたのは、学生たちは「やりがい」や「人の役に立ちたい」という気持ちは持ちながらも「できれば働きたくはない」という、相反するよう見える感情を同時に持つ傾向があるということである。

4-2. 価値観

受講学生の価値観として特徴的だったものには以下のようなものがある。

まず、「まわりから好かれる（86%）」ことや「尊敬されること（82%）」に比べたら、「まわりから注目されること（32%）」は重要と感じていない傾向がある。現代の若者は「『目立つ』ことが最も怖いこと。『横並びでいたい』『浮くのが怖い』と思っている」（金間、2022）傾向があることを指摘する声もある中、本授業の受講生においても、そのような傾向が確認できるといえる。

「他人との競争、比較を好まない」傾向は、他の項目からも見られ、「自分に自信が持てる（100%）」「能力を発揮する（82%）」「困難な目標を達成する（72%）」を重要と考える一方で、「人と比べて優れている（45%）」を重要と考えている割合はやや低かった。

また、「仕事をする」と「結婚すること」や「子どもを持つこと」についての価値観としては、「仕事をする（82%）」は重要と考える者が多かったが、「結婚すること（59%）」や「子どもを持つこと（59%）」については、一定の傾向を見つけることができなかった。

4-3. 現在の自分の状況に対する認識

今回調査した学生の中には、自分が「幸福だと思う（77%）」、「今の性別に生まれてよかったと思う（86%）」、「人間関係に満足している（92%）」「自由にのびのび行動している（81%）」という回答が比較的多く、現在の状況におおむね満足している学生の割合が高いことが見て取れる。

また、「周りから孤立するのは怖い」に対する回答で男子は「どちらかと言えばあてはまらない（56%）」、女子は「どちらかと言えばあてはまる（46%）」が多く、男女で別れた。女子が、孤立することを恐れる傾向があるが、「周りからどう思われようが自分は自分だ（46%）」の回答も多く、これについては、整合性がつかめない。

「人と接するのは気が重い」に対する回答では、男子は「どちらかと言えばあてはまる（45%）」が多く、女子は「どちらかと言えばあてはまらない（54%）」が多く、これも男女で傾向が別れた。

4-4. ライフコースについての考え方（女子学生・男子学生）

4-4-1. 女子学生のライフコースについての考え方と、両親の期待

今回の調査では学生本人のライフコースについての考え方に加え、母親のライフコースと、両親の学生本人への期待についての調査項目を設けた。今回父親のライフコースを含ませなかった理由は、父親は結婚後も何らかの形で仕事を続けているケースが多いと予想される一方で、母親は妊娠、出産、育児をきかけにキャリアの断絶と再就職などを経験している可能性が高いと考え、その母親のライフコースが学生本人の希望するライフコー

図2. 女子学生が理想とするライフコース

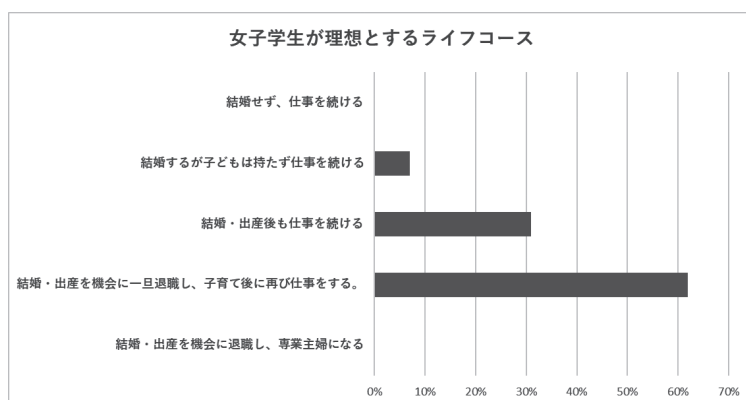
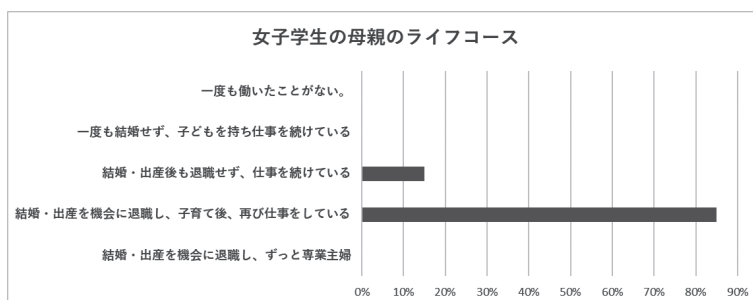


図3. 女子学生の母親のライフコース



スに影響を与える可能性があるのではないかと考えたからである。

以下、学生本人が理想とするライフコース、母親のライフコース、母親が希望するライフコース、父親が希望するライフコースの順に、男女別にその傾向を見ていきたい。

調査の結果、女子学生の母親のライフコースは、「子育て後に再び働き始める」ケースが85%と圧倒的に多く、キャリアを積みながら、ずっと仕事を続けているケースは15%と少数だった。また専業主婦はゼロで、母親は何等かの形で仕事をしていることが明らかになった。

女子学生本人が希望するライフコースは、母親自身のライフコースよりは、「結婚・出産後も仕事を続ける（30%）」がやや増えたものの、「子育て後に再び働き始める（62%）」を希望する学生が過半数を超えており、母親と同じライフコースを望む女子学生の割合が高いことがわかる。

図 4. 母親が女子学生に望むライフコース

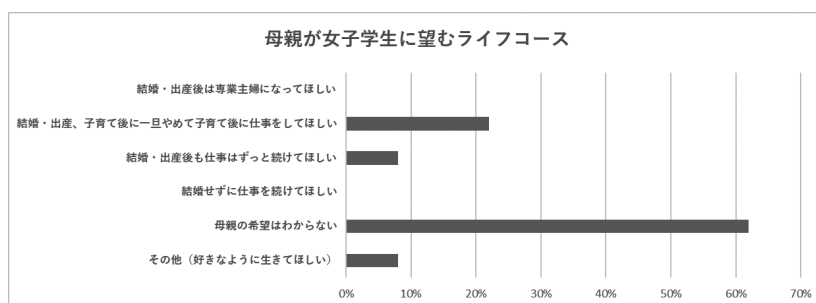
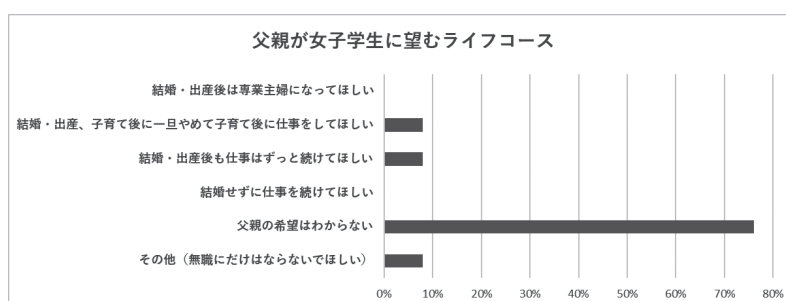


図 5. 父親が女子学生に望むライフコース



両親が女子学生に望むライフコースについて、多くの女子学生が、「わからない」との回答（母親の期待がわからない女子学生は 62%、父親の期待がわからない女子学生は 72%）が圧倒的に多く、両親が女子学生のライフコースについて、家族内で話したり、期待や方針を持って子育てをしてこなかったことがわかる。

「わからない」以外で回答のあった中でも「専業主婦」や「結婚せずに仕事をしてほしい」はともにゼロであり、親たちが経験してきた中でのライフコースを望んでいることがわかる。

4-4-2. 男子学生のライフコースについての考え方と、両親の期待

男子学生については、「家族についての将来の希望」と「仕事についての将来の希望」の二つの観点から、希望するライフコースの特徴を見ていきたい。まず、家族については、半数以上の学生が、家庭について、将来結婚して子どもがいる家庭を希望している。一方で約 20%の学生は、結婚せずに一人で暮らすことを希望していた。仕事については、多くの学生が安定を望むが、出世については「したくない（45%）」学生も少なくなかった。また、約 20%の学生は、仕事についての将来の希望はまだ定まっていなかった。

図6. 男子学生が希望する家族についての将来像

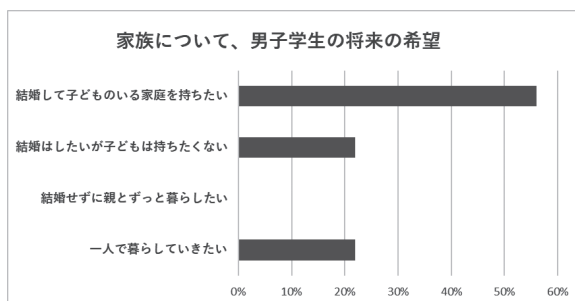
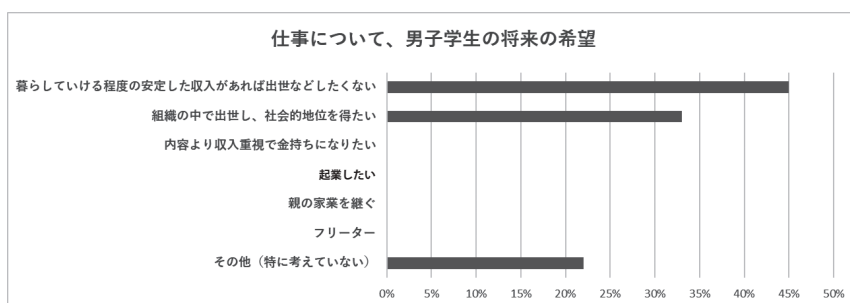


図7. 男子学生が希望する仕事についての将来像



両親の期待を見ていくと、母親が男子学生に望むライフコースとしては、「安定した職に就いてほしい」、「無職にはならないでほしい」、「仕事を持って自立してほしい」、「本人に任せる」などがあり、11%の男子学生は、母親が何を希望しているのか「わからない」と答えた。また、父親が男子学生に望むライフコースとしては、「仕事をして自立してほしい」、「無職にならないでほしい」、「本人に任せる」、「将来なくなる仕事に就いてほしい」といった記述があり、11%の男子学生は父親が自分に何を希望しているのか「わからない」と答えた。

女子学生の62%が「母親の自分のライフコースへの期待がわからない」、72%が「父親の自分のライフコースへの期待がわからない」と答えたのに比べると、男子学生の方が、両親の自分のライフコースへの期待を認識している割合が高かった。

5. おわりに—学生のライフコースへの考え方が進路指導や生涯設計を指導することへ示唆すること—

今回の調査対象となった「ライフデザイン演習」を履修している短期大学の学生は、キャリア観については、男女ともに「大企業で働きたい」、「おおきな組織の一員でいた

い」、「メーカーで働きたい」傾向が強い一方で、IT 企業など、新しい産業分野の仕事を希望する者は少なかった。親からも「安定した職」に就いてほしいと期待されることも多く、昔ながらの事務職を中心とした会社員をイメージしている傾向があった。しかし学生が社会で活躍する今後の社会は、技術の急速な発達による産業界の地殻変動と、不安定な国際情勢により、刻々と変化していくことが予想される。5 年後、10 年後に、今ある仕事に安定的に従事することができるのか、予断を許さない状況である。一方で、これまでになかった新たな職業、産業分野も生まれてきている。佐藤（2021）は、「第四次産業革命によって、現在 12 歳の子どもが大人になって就職する仕事の 65% は今存在していない仕事になる」とし、「それらの大半が AI（人工知能）やロボットでは代替できない仕事である」と指摘している。大学生のキャリアや人生設計を支援する教員として、伝統的なキャリア観やこれまでの固定観念に縛られず、今後の時代や社会の変化とキャリアの在り方の変化に敏感になり、変化によるリスクと可能性を学生に示してあげることが求められるだろう。

「仕事をする意味」については、「やりがい」や「人の役に立つ」ことを求める傾向が強いが、同時に、「仕事は仕方なくする」、「できれば働きたくない」と回答する学生が多く、仕事観が定まっていない様子が伺える。仕事をするなら、やりがいがある仕事が良いが、積極的に仕事をしたいわけではないと考える傾向があることがわかった。私たちは全生涯の大部分は仕事をしながら生きなければならないが、先行研究でも指摘され、今回の調査でも明らかになったように、現代の若者の中には好んで労働する者は少ない傾向がある。大人たちは若者に、楽しいことばかりではなく、辛いこと、大変なことを乗り越えることも含めて「労働」することの意味を、どのように教えていけばよいかも課題となる。

また、今回特に女性学生のライフコースについては、その母親のライフコースや両親の期待の影響も含めて検討したが、女子学生の場合、母親と同様のライフコースを希望する傾向があることがわかった。母親とは異なるライフコースを望み、冒険または挑戦をしようとする学生は多くなかった。母親を含め、多様な女性の生き方、働き方の存在や可能性を、ロールモデルの提示などを通して学生に提示することも必要になってくるだろう。

男女学生ともに（特に女子学生において）、「両親の自分のライフコースへの期待」がわからない、と答える人も少なからずいた。学生が将来への強い「不安」を示していることを考えると、親や教員など、周りにいる大人が話を聞いたり、支援することも大事になってくるのではないだろうか。

学生が自身のライフコースの設計を肯定的に行い、今できる準備を積極的に行う、「自分の人生設計におけるリーダーシップ」をいかに発揮できるのか、そのために必要な教育実践は何であるのかについて、今後も追究していきたい。

注

- (1) 詳しい質問項目については、【参考資料／調査用紙】を参照されたい。
- (2) 以降、括弧内の数字は、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計を示す。

参考文献

英文

Elder, J.G. (1985) *Life Course Dynamics: Trajectories and Transitions 1968-1980*. Cornell University Press, Ithaca.

和文

飯田都、「大学生における卒業後の進路希望とキャリア観 ―積極的・消極的な労働観に着目して―」、『岡山大学教師教育開発センター紀要』(13)、2023、pp.245-259

金間大介、『先生、どうか皆の前ではめないで下さい：いい子症候群の若者たち』、東洋経済新報社、2022

斎藤耕二・本田時雄編、『ライフコースの心理学』、金子書房、2001

佐藤学、『第四次産業革命と教育の未来―ポストコロナ時代の ICT 教育』、岩波書店、2021

就職みらい研究所、『就職白書 2022』、株式会社リクルート就職みらい研究所、2022

杉坂郁子・申智媛、『『ライフデザイン演習Ⅱ』における『10年後の社会』と『10年後の私』の構想のための教材開発研究：多様な人とモノとの出会いと対話に注目して』、『帝京大学高等教育開発センターフォーラム』、2019、pp.125-140

杉坂郁子・申智媛、『『ライフデザイン演習』における『自分の未来予想図』構想のためのプロジェクト型学習に関する研究：学生の主体的で深い学びを目指して』、『帝京大学高等教育開発センターフォーラム』、2021、pp.59-79

杉坂郁子・申智媛、『『ライフデザイン演習Ⅰ』における『全員発揮のリーダーシップ教育』の取り組み：学生の自己肯定感に着目して』、『帝京大学短期大学紀要』(43)、2023、pp.83-92

高松 直紀・掛谷 純子・坂本 理郎、「両親の期待が女子大学生のライフコースに与える影響」、『ビジネス実務論集』(41)、2023、pp.1-11

独立行政法人労働政策研究・研修機構、「労働政策研究報告書 No.213 大都市の若者の就業行動と意識の変容―第5回 若者のワークスタイル調査から―」、2022、

内閣府、「国民生活に関する世論調査」、2017

日向野幹也、『高校生からのリーダーシップ入門』、筑摩書房、2018

松井洋「大学生の仕事観に関する研究」、『川村学園大学研究紀要』27(2)、2016、pp.73-86

【参考資料／調査用紙】

2023.7

ライフコースを考えるための調査

学籍番号

氏名

【1】あなたの仕事に関する意識

1 あてはまる	2 どちらかと言えばあてはまる
3 どちらかと言えばあてはまらない	4 あてはまらない

番号に○をつける。

できれば大企業で働きたい。．．．．．	1	2	3	4
おおきな組織の一員でいたい。．．．．．	1	2	3	4
メーカーで働きたい。．．．．．	1	2	3	4
I T関連の仕事がしたい。．．．．．	1	2	3	4
仕事選びでは「収入」が最も大切だ。．．．．．	1	2	3	4
安定した職業に就きたい。．．．．．	1	2	3	4
起業したいと思う。．．．．．	1	2	3	4
雇われるより雇う立場になりたい。．．．．．	1	2	3	4
自由業に憧れる。．．．．．	1	2	3	4
海外で働きたい。．．．．．	1	2	3	4
仕事は「やりがい」があるかが大切だ。．．．．．	1	2	3	4
人の役に立つ仕事がしたい。．．．．．	1	2	3	4
収入や条件より「自分らしさ」を発揮できるかが大切だ。．．	1	2	3	4
フリーター志向がある。．．．．．	1	2	3	4
できれば仕事はしたくない。．．．．．	1	2	3	4
仕事は生きがいだ。．．．．．	1	2	3	4
仕事は生きていくために仕方なくする。．．．．．	1	2	3	4

【2】あなたの価値観

1 重要だ	2 どちらかと言えば重要だ
3 どちらかと言えば重要ではない	4 重要ではない

番号に○をつける。

まわりの人から好かれること。．．．．．	1	2	3	4
まわりの人から尊敬されること。．．．．．	1	2	3	4
人から注目されること。．．．．．	1	2	3	4
落ち着いた気分でいられること。．．．．．	1	2	3	4
自分らしさを大切にすること。．．．．．	1	2	3	4
「正しいことをしている」と思えること。．．．．．	1	2	3	4
社会のために役立っていること。．．．．．	1	2	3	4
人と比べて優れていること。．．．．．	1	2	3	4
成長すること。．．．．．	1	2	3	4
困難な目標を達成すること。．．．．．	1	2	3	4
能力を発揮すること。．．．．．	1	2	3	4
前向きであること。．．．．．	1	2	3	4
自分らしさを大切にすること。．．．．．	1	2	3	4
自分に自信が持てること。．．．．．	1	2	3	4
自然体でいること。．．．．．	1	2	3	4
人と違うこと。．．．．．	1	2	3	4
能力を発揮すること。．．．．．	1	2	3	4
のんびりできること。．．．．．	1	2	3	4
自由気ままに生きること。．．．．．	1	2	3	4
人にわずらわされないこと。．．．．．	1	2	3	4
経済的に独立すること。．．．．．	1	2	3	4
安定した生活を送ること。．．．．．	1	2	3	4
結婚すること。．．．．．	1	2	3	4
子どもをつくること。．．．．．	1	2	3	4
仕事をする事。．．．．．	1	2	3	4
夢を実現すること。．．．．．	1	2	3	4
面白おかしく生きること。．．．．．	1	2	3	4
気分がウキウキするようなことがあること。．．．．．	1	2	3	4

【3】あなたの今の状況・考え

1 あてはまる	2 どちらかと言えばあてはまる
3 どちらかと言えばあてはまらない	4 あてはまらない

番号に○をつける。

人間関係に満足している。．．．．．	1	2	3	4
幸福だと思う。．．．．．	1	2	3	4
今の性別に生まれてよかったと思う。．．．．．	1	2	3	4
他人にどう思われようが自分は自分だと思う。．．．．．	1	2	3	4
しっかり自己主張するほうである。．．．．．	1	2	3	4
自由にのびのび行動している。．．．．．	1	2	3	4
人と接するのは気が重い。．．．．．	1	2	3	4
引きこもりの傾向がある。．．．．．	1	2	3	4
自分はオタクだと思う。．．．．．	1	2	3	4
みんなから孤立するのは怖い。．．．．．	1	2	3	4
人同士の絆はとても大切だと思う。．．．．．	1	2	3	4
自分の将来に夢がある。．．．．．	1	2	3	4
自分の未来は明るいと思う。．．．．．	1	2	3	4

【４】ライフコースについて（女子学生用）

あなたの理想とするライフコースは？ １～６より選んで、番号を□に書く。

- 結婚し子どもを持ち、結婚または出産を機会に退職し、その後は仕事を持たない。
- 結婚し子どもを持ち、結婚または出産を機会に退職し、子育て後に再び仕事をする。
- 結婚し子どもを持つが、仕事は続ける。
- 結婚はするが、子どもは持たず、仕事を続ける。
- 結婚せず、仕事を続ける。
- その他（ ）

あなたの母親のライフコースは？ １～７より選んで、番号を□に書く。

- 結婚または出産を機会に退職し、その後は仕事をっていない。
- 結婚または出産を機会に退職し、子育て後に再び仕事をしている。
- 結婚・出産後も退職せず、仕事を続けている。
- 一度も結婚せず、子どもを持ち仕事を続けている。
- 一度も働いたことがない。（学生時代のアルバイトは除いて）

6. わからない
7. その他 ()

あなたの母親が希望するあなたのライフコースは？ 1～6 より選んで、番号を□に書く。

1. 結婚し子どもを持ち、結婚または出産を機会に退職し、その後は仕事を持たないでほしい。
2. 結婚し、子どもを持ち、結婚または出産を機会に退職し、子育て後に再び仕事をしてほしい。
3. 結婚し、子どもを持つが、仕事は続けてほしい。
4. 結婚せずに仕事を続けてほしい。
5. わからない
6. その他 ()



あなたの父親が希望するあなたのライフコースは？ 1～6 より選んで、番号を□に書く。

1. 結婚し子どもを持ち、結婚または出産を機会に退職し、その後は仕事を持たないでほしい。
2. 結婚し、子どもを持ち、結婚または出産を機会に退職し、子育て後に再び仕事をしてほしい。
3. 結婚し、子どもを持つが、仕事は続けてほしい。
4. 結婚せずに仕事を続けてほしい。
5. わからない
6. その他 ()



【5】あなたの今の状況・考え

1 あてはまる	2 どちらかと言えばあてはまる
3 どちらかと言えばあてはまらない	4 あてはまらない

番号に○をつける。

人間関係に満足している。	1	2	3	4
幸福だと思う。	1	2	3	4
今の性別に生まれてよかったと思う。	1	2	3	4
他人にどう思われようが自分は自分だと思う。	1	2	3	4

しっかり自己主張するほうである。．．．．．	1	2	3	4
自由にのびのび行動している。．．．．．	1	2	3	4
人と接するのは気が重い。．．．．．	1	2	3	4
引きこもりの傾向がある。．．．．．	1	2	3	4
自分はオタクだと思う。．．．．．	1	2	3	4
みんなから孤立するのは怖い。．．．．．	1	2	3	4
人同士の絆はとても大切だと思う。．．．．．	1	2	3	4
自分の将来に夢がある。．．．．．	1	2	3	4
自分の未来は明るいと思う。．．．．．	1	2	3	4

【４】ライフコースについて（男子学生用）

(1) 家族について、あなたの将来の希望は？ 1～5 より選んで、番号を□に書く。

1. 結婚して子どものいる家庭を築きたい。
2. 結婚はしたいが、子どもは持ちたくない。
3. 結婚せずに、親とずっと暮らしたい。
4. 一人で暮らしていきたい。
5. その他（



)

(2) 仕事について、あなたの将来の希望は？ 1～7 より選んで、番号を□に書く。

1. 暮らしていける程度の安定した収入があれば出世などしなくてよい。
2. 組織（会社など）の中で、出世し社会的地位を得たい。
3. 仕事は、内容よりお金がたくさん儲かることを優先し金持ちになりたい。
4. 起業したい。
5. 親の家業の跡継ぎになりたい。
6. フリーターをしながら暮らしていきたい。
7. その他（



)

(3) あなたの母親のライフコースは？ 1～7 より選んで、番号を□に書く。

1. 結婚または出産を機会に退職し、その後は仕事を持っていない。
2. 結婚または出産を機会に退職し、子育て後に再び仕事をしている。
3. 結婚・出産後も退職せず、仕事を続けている。
4. 一度も結婚せず、子どもを持ち仕事を続けている。



5. 一度も働いたことがない。(学生時代のアルバイトは除いて)

6. わからない

7. その他 ()

(4) あなたの母親が希望しているあなたの将来（職業、結婚、家庭など何でもよい）について、自由に記述して下さい。いない場合は空欄でもよいし、以前いた時に希望していたことでもよい。

(5) あなたの父親が希望しているあなたの将来（職業、結婚、家庭など何でもよい）について、自由に記述して下さい。いない場合は空欄でもよいし、以前いた時に希望していたことでもよい。

※個人が特定されるような集計はしません。